



藤沢市役所

記者発表資料  
2025年(令和7年)1月7日

藤沢記者クラブ各位

## 伝染性紅斑（リンゴ病）流行警報の発令について

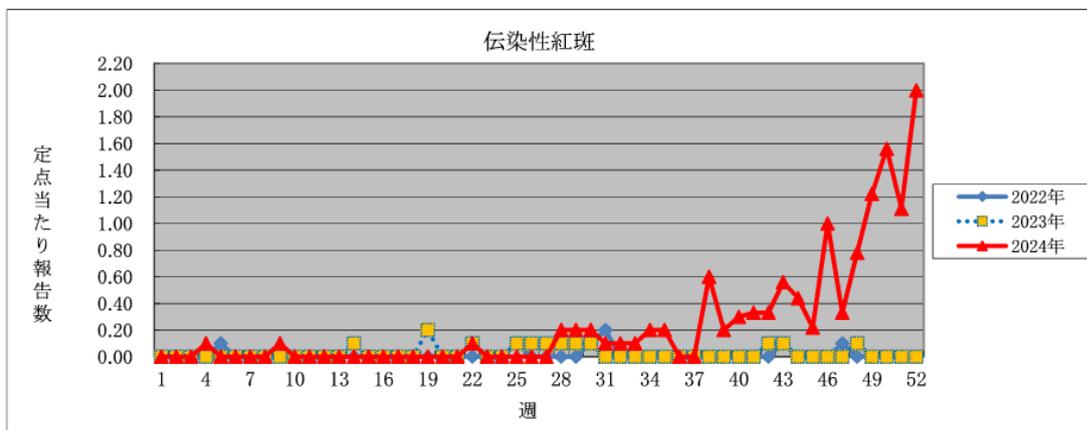
本市では、感染症発生動向調査による、2024年第52週（12月23日から12月29日まで）の伝染性紅斑発生状況が、定点※あたり2.00人（定点数9か所、患者報告数18人）となり警報発令基準値（定点あたり2人）に達したため、伝染性紅斑流行警報を発令します。警報発令基準値に達したのは、2019年1月以来5年11か月ぶりとなります。

※「定点」：定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関（伝染性紅斑の場合は、9か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

### ▼伝染性紅斑の定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
49週	12月2日～12月8日	0.92	2.23	1.22
50週	12月9日～12月15日	0.94	1.91	1.56
51週	12月16日～12月22日	0.98	1.93	1.11
52週	12月23日～12月29日	-	-	<b>2.00</b> (流行警報発令)

### ▼藤沢市内の伝染性紅斑発生状況グラフ



《次項あり》

## 伝染性紅斑とは？

### 1 主な症状

ヒトパルボウイルス B19 による感染症で、約 10～20 日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後両頬に境界鮮明な紅斑（赤い発しん）が現れます。続いて、体や手足に網目状やレース状の発しんが現れます。成人では関節痛や頭痛などの症状が出るがありますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。

### 2 感染経路

飛沫感染、接触感染

### 3 予防方法

伝染性紅斑には、有効なワクチンはなく治療薬もありません。紅斑出現前の微熱やかぜのような症状がみられる時期にウイルスの排出が最も多くなるため、紅斑を確認してから感染を避けることは困難です。

伝染性紅斑の家族がいる場合や、多くの小児と接する機会がある職業の方などは手洗いと咳エチケットを心がけて、予防を行いましょう。

また、妊婦が感染すると胎児水腫や流産を起こすことがあります。妊婦の方は流行時期にはかぜ症状がある方との接触に注意してください。接触が確認された場合は、産科医にご相談ください。

\*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課

担当： 幸田・加藤

内線： 7171

直通： 0466(50)3593